

令和5年度 港北地区
幼保小教育交流事業 活動報告

「笑顔でつながる
出会いでつながる」



港北地区実行委員会

< 港北地区の今年度スローガン >

4月の第1回実行委員会において、今年度の港北地区の幼保小連携のためのスローガンを検討。

- ◆ 3年間のコロナ禍で、途絶えてしまった幼保小連携の活動を今年度は是非復活させたい！
- ◆ 子ども・保育者・教師の皆がマスクを外し笑顔で出会い、触れ合うことで心を通わせ、虹の架け橋を掛けていこう！

「 笑顔でつながる 出会いでつながる 」

＜港北地区 交流事業対象の園・校数＞

- ◆認定保育所 : 117園
- ◆認可外保育施設 : 25園
- ◆こども園 : 5園
- ◆幼稚園 : 19園
- ◆小学校 : 26校



< 令和5年度の活動 >

◆ 4月21日(金) : 第1回実行委員会

- ・ 実行委員顔合せ・役割分担・名簿作成・事業計画立案
- ・ 港北地区令和5年度 スローガン検討、作成

◆ 5月15日(月) : 第2回実行委員会

- ・ 園長校長会及び総会に向けての打ち合わせ、運営準備

◆ 6月15日(木) : 園長校長会・総会

- ・ 総会・令和4年度の事業及び決算報告・令和5年度の事業計画及び予算案
- ・ 基調講演・園長校長の情報共有及び連携打ち合わせ

◆ 8月29日(火) : 第3回実行委員会

- ・「健やか子育て講演会」に向けての打ち合わせ、運営準備

◆ 9月21日(木) : 「健やか子育て講演会」

テーマ「食で変わる心と体」

～子どもたちの「今」と「未来」を守るために～ 講師：国光美佳先生

◆ 11月15日(水) : 小学校授業参観 (B研＝領域)

- ・小学校授業公開及び研究会

◆ 11月16日(木) : 第4回実行委員会

- ・「合同研究会」に向けての打ち合わせ、運営準備

◆ 12月18日(月)：「合同研究会」

- ・ 推進地区3年目小机地区の発表・総評・情報共有及び連携打ち合わせ

◆ 1月17日(水)：小学校授業参観（A研＝教科）

- ・ 小学校授業公開及び研究会

◆ 2月20日(火)：第5回実行委員会

- ・ 令和5年度の活動報告の確認・令和6年度への引継ぎ

◆ その他

「公開保育」：個別に可能かを確認して行った

「交流活動」：連携したい小学校と保育園や幼稚園が
自由に計画を立て実施



園長・校長会（総会）

- ◆日時：6月15日（木）
15時30分～17時00分
- ◆会場：港北公会堂ホール
- ◆参加人数：65名



◆開会の言葉

1, 委員長挨拶

2, 来賓挨拶

3, 令和4年度 事業報告・決算報告

4, 令和5年度 事業計画・予算案

◆基調講演

「笑顔でつながる 出会いでつながる」

講師：横浜市子ども青年局担当課長

田村 憲一様



◆情報共有：小学校を軸に近隣の園が集まり、自己紹介
学校や園の様子の情報共有、今年度の交流
の方向性や計画について話し合った



・名刺交換から始まり直接
学校や園の様子を伝え合う
ことができ、有意義だった。
基調講演の具体例も参考に
なった（小学校）

・校長先生と子どもの
接続期についてお話し
ることができたので、
今後どのようなアプ
ローチをしていくべき
か考える良い機会と
なった（幼稚園）

・校長先生と情報共
有ができ、年長児の
保護者に伝えること
が明確になった
（保育園）



保護者・地域と共に学ぶ「健やか子育て講演会」

『食で変わる心と体』

～子どもたちの「今」と「未来」を守るために～

◆講師：国光美佳先生

(NPO法人「子どもの心と健康を守る会」代表

◆日時：6月15日(木) 15時30分～17時00分

◆会場：港北公会堂ホール

◆参加人数：81名



< 講師：国光美佳先生 プロフィール >

NPO法人「子どもの心と健康を守る会」代表・一般社団法人国際学協会 理事
著書「食べなきゃ、危険！食卓はミネラル不足」（三五館シンシャ）等多数
2022年4月号～育児雑誌『クーヨン』（クレヨンハウス）にて

【ミネラルオーガニック給食だより】連載スタート
健康雑誌『安心』（マキノ出版）にて【ミネラル健康レシピ】連載中。
またアートセラピーを通して、心と体のケアによる子育て支援活動を行っている。



子どもたちの健康は大人が正しい知識を身に付け、日常から取り組んでいくことが大切だと感じた（教員）

ご自身が便秘や低体温などの体調不良に悩まされたことをきっかけに栄養学を学び「子どもの心と健康を守る会」を設立。食べ物が子どもたちの心と健康に大きな影響を及ぼしていることを実感し、食生活と心のケアの両面から家庭教育相談、講演会を全国で展開している。

体の5大栄養素はタンパク質、ミネラル、ビタミン、炭水化物、脂質であるが、人間の体の中の5%しかない「ミネラル」と「ビタミン」は、子どもの成長に特に必要な栄養素である。中でもミネラルは神経系に影響を及ぼすことが実証されている。ミネラルが不足すると酵素が活性化されず代謝異常を起こし、様々な心身の不調の原因となる。

逆にミネラルが十分に足りていると酵素が円滑に働き、体の各器官の働きも円滑になる。このことから、ミネラルを十分に摂ることが私たちの精神状態、心の状態の安定につながるため、食生活にミネラルを含む食材を多く摂取することが大切。そこで、ミネラルを多く含む「煮干し・昆布・鰹節・海苔」を手軽に食生活に取り入れる為のアイデアやレシピを紹介。コンビニ弁当やレトルト食品などの現代食はミネラルがかなり不足しているので、できれば手作りで無添加の食事を心掛けたいが、家庭の状況などで難しい場合は、コンビニ弁当などに煮干しなどのふりかけやゴマ、海苔などをプラスするだけでも効果はあるので、試してほしいとのお話であった。

帰りに早速スーパーに寄って煮干しを買って帰ります（保護者）



合同研究会

- ◆日時：12月18日(月)
15時30分～17時00分
- ◆会場：港北公会堂ホール
- ◆参加人数：70名



◆開会の言葉

- 1, 委員長挨拶
- 2, 来賓紹介



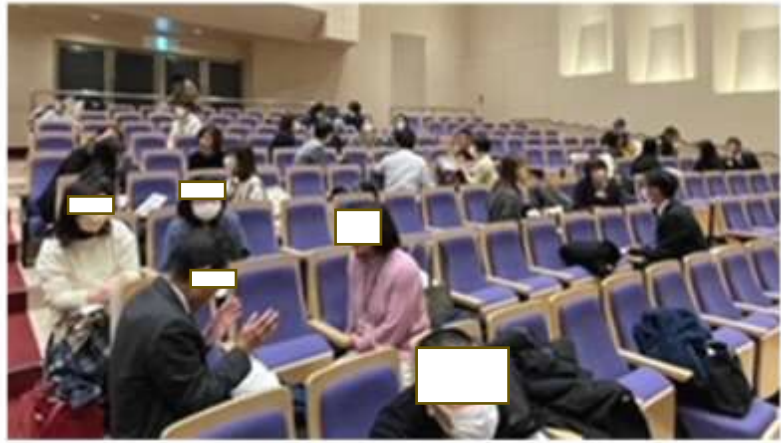
◆推進地区3年目 小机地区 発表

「つなげよう 小机の輪」小机小学校・小机幼稚園

◆総評 田村 憲一様（横浜市子ども青年局担当課長）

コロナ禍で対面での交流が難しいこともありましたが、教員同士の交流を重ね、動画で子どもの様子を伝え合うなど工夫しました。

◆情報共有：「虹の架け橋プログラム」を踏まえ、今年度実践できた交流活動や今後の計画を話し合う。



先生も子どもたちも
繋がりに、安心して就
学できる環境を作る
ことが大切と感じた
(幼稚園)

実践報告を聞いた上
で、小学校や幼稚園
と話ができたので、
具体的な連携を考え
ることができた
(保育園)

小机地区の発表を
今後の連携に生か
していきたい。年
間計画をきちんと
立て取り組んでい
くことが大切だと
感じた(小学校)

<港北地区幼保小教育交流事業 次年度に向けての課題>

今年度は情報共有の時間を長く確保し、より実践しやすいよう、ブロック制ではなく小学校を軸にしたグループを自主的に作り、話し合う時間を設けた。また、推進地区の実践報告を聞くことで具体的な連携を模索することができた。対面での連携が実践でき、先生も子どもも笑顔でつながることが増えた1年となったが、次年度は更に多くの園や学校が対面で連携できるようにしたい。園長校長会などを通し、幼保小の垣根を取り除くことができるよう努力したい。



「笑顔でつながる 出会いでつなげる」

0歳から12歳までの子どもたちの成長に携わる私たちが、共に考え、なめらかな「虹の橋」をかけることができるよう幼保小の連携が更に前進することを願って…



港北地区幼保小教育交流事業 実行委員会